



2019年12月4日

日本鉄道労働組合連合会

J R 貨 物 連 合 「 第 10 回 定 期 大 会 」

各ロジ会社の責任組合として 直面する課題に果敢に取り組む！



J R 貨 物 グ ル ー プ 労 働 組 合 連 合 会 (J R 貨 物 連 合) は、11月30日、都内で「直面する、組織・政策課題に、真正面から取り組み、安全最優先の職場風土を作り上げよう！」をメインスローガンに第10回定期大会を開催し、2019年度活動方針を満場一致で決定した。

冒頭大杉正美会長（貨物鉄産労執行委員長）は挨拶で、各ロジスティックス労組に対して、ロジスティックス各社における責任組合としての自覚と奮起を促すとともに、離職防止や税制特例措置の継続適用にむけた取り組みなど、J R 貨 物 グ ル ー プ の 直 面 す る 課 題 に 対 し て 所 信 を 述 べ た。また、昨今の大規模自然災害を踏まえ、自然災害リスクへの備えとして交運共済への加入促進を呼びかけた。

大会には、来賓として松岡裕次交運共済理事長が出席、J R 連 合 か ら は 荻 山 市 朗 会 長 と 北 村 公 次 労 働 政 策 部 長 が 出 席 し、連帯と激励の挨拶を行った。

議事では、執行部より活動報告と2019年度活動方針案が提起され、満場一致で採択された。また、役員選出では、大杉会長が再任されるとともに、新たに小山達礼氏（貨物鉄産労執行委員）を事務局次長に選出し、「J R 連 合 と 加 盟 各 単 組 が 連 携 を 密 に し、総力を結集してJ R 貨 物 連 合 運 動 を 盛 り 上 げ る」とした大会宣言を採択後、大杉会長の団結ガンバローで閉会した。

なお、大会終了後には「安全ディスカッション」を行い、参加者から人手不足等の職場実態や不安全事故に関する意見が寄せられ、今後の労使協議に活かしていくことを確認した。